

文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel (0776-82-1141) Fax (0776-82-2261)


【斉藤新緑事務所】〒913-0001 福井県坂井市三国町池上103-36

【e-mail】sinryoku@aurora.ocn.ne.jp

【ホームページ】http://www.ss.apdw.jp

ほっとらん

VOL. 96

人に、まちに、いま、
元気の種をまこう。

日本が根こそぎ奪われる

水と安全はタダ同然、医療と介護は世界トップ。そんな日本に今、とんでもない魔の手が伸びているのを知っているだろうか？

法律が次々と変えられ、米国や中国、EUなどのハゲタカどもが、我々の資産を買い漁っている。

水や米、海や森や農地、国民皆保険に公教育に食の安全に個人情報など、日本が誇る貴重な資産に値札がつけられ、叩き売りされているのだ。

▼日本が根こそぎ奪われる！
マスコミが報道しない衝撃の舞台裏と反撃の戦略を、鋭い国際ジャーナリストが、緻密な現場取材と膨大な資料をもとに暴き出す！

●水が売られる(水道民営化)
●土が売られる(汚染土再利用)
●タネが売られる



(種子法廃止) ●ミツバチの命が売られる(農業規制緩和) ●食の選択肢が売られる(遺伝子組み換え食品表示消滅) ●牛乳が売られる(生乳流通自由化) ●農地が売られる(農地法改正) ●森が売られる(森林経営管理法) ●海が売られる(漁協法改正) ●築地が売られる(卸売市場解体) ●労働者が売られる(高度プロフェッショナル制度) ●日本人の仕事が売られる(移民50万人計画) ●ブラック企業対策が売られる(労働監督部門民営化)

●ギャンブルが売られる(IR法) ●学校が売られる(公設民営学校解禁) ●医療が売られる(国保消滅) ●老後が売られる(介護の投資商品化) ●個人情報情報が売られる(マイナンバーが外国企業へ)

▼国会は死んだ
「12月10日、臨時国会が閉幕した。新法案13本が全て成立した。」

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼国会は死んだ
「12月10日、臨時国会が閉幕した。新法案13本が全て成立した。」

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

▼戦前、軍部主導の内閣の暴走が強まり、政党が大政翼賛会と合流するなかで、斎藤隆夫は体を張って正面から軍部を批判、1時間半に及ぶ反軍演説を行った。

小松-香港に定期便

最大手「キャセイパシフィック」方針

4月就航、週2便体制



キャセイパシフィック航空

小松空港に4月、香港との定期便が就航する見通しとなった。香港最大手の航空会社「キャセイパシフィック航空」が夏ダイヤ(3月31日から10月26日)から小松-香港便を水、土曜の週2便体制で運行する方針を固めた。実現すれば、小松にとってソウ

ル、上海、台北に続く4番目の国際定期路線で、新規では11年ぶりとなる。機材はチャーター便にも使われた約300人乗りのエアバス330が採用される見込みとなっている。



タイ国政府観光庁、ユッタサック・スパソーン総裁

就航すれば、本州日本海側の「空の玄関口」として観光、ビジネス面での拠点化が期待される。同社は、2017年と2018年、それぞれ春と秋に小松-香港チャーター便を飛ばし、搭乗率はいずれも90%を超える高水準を記

録した。11月には石川、福井両県議会の小松空港国際化推進議連が香港の本社を訪れ、定期便化を求めた。(北国新聞)

▼2017年に続き、小松空港国際化推進石川・福井県議会議



福井県の観光アピール

員連盟タイ・香港訪問団を結成し、11月11日(日)から16日の日程で、定期便開設に向けて、要請行動を行いました。

タイでは、まず、タイ国政府観光庁を訪問し、ユッタサック・スパソーン総裁と面談、昨年お会いした既に退職した副総裁とは、うって変わって、ものすごくやる気で、タイ航空と観光庁の企画するワンプラスワンという計画に入れてもらうように、飛行機

は、その子会社のスマイルに依頼するのが良いと具体的に指示してもらえました。

タイ国際航空では、ノン・カリンタ副社長に観光庁総裁のメッセージを伝えると一層前向きな姿勢が伺えましたが、大型機材なので、子会社のスマイル航空を紹介してもらいました。



タイ国際航空での要請

タイは、前回の訪問時は相手にされていない感じがありませんでしたが、今回は、きわめて定期便が現実味をおびてきた手ごたえを感じました。

しかし、スマイル航空では飛行時間が5時間しか飛べない飛行機しかないのです。飛行時間6時間の小松に行くとなると無理がある。中国の高雄とか杭州などを経由して飛ぶことも提案しましたが、民間航空の中継を中国が認めるかどうかといった問題があるようで、調査が必要ということでした。



スマイル航空



香港総領事館における訪問団

香港では、まず、前回同様、香港総領事館を訪ねました。
福井県出身の松田大使が交代され、まだ新任の大使が着任していない状況でしたが、定期便の就航には、引き続き協力することを確認しましたし、香港では日本語を学校で勉強しており、学生の交流なども求められました。

キャセイパシフィック航空では、前回に続いてジャスミン・フル路線計画チーフと面談、昨年チャーター便の機材を大きくして増便したが、どれも満杯でいい結果であったことを確認、「もう、あなた方は定期便しか思わないでしょう」といって、定期便を飛ばす候補の3本の指に入っているが、飛行場の空き時間や機材の手配など調整、検討したいということでした。

前日も訪れた香港エクスプレスは、今回ジュディ・ホー営業&コールセンター部長が窓口となり、これまた前回とは打って変わって明るく積極的で、思わず私は挨拶をいう前に「ユー・アー・マイ・サンシャイン」と言ったら「サンキュー」となっていて、キャセイパシフィックのチャーター便の実績を知ると、話が急展開して条件交渉に入る



ニュージェン・エアウェイズ航空会社へ要請

進展を見せました。キャセイの決断が遅れるなら、多少補助金は増えてもちちらと提携しようと思えました。

旅行会社はパッケージ・ツアーズ(CN袁、最高経営責任者)とEGLツアーズ(袁分英社長)を訪問



香港エクスプレス

CN袁常務は、あわら温泉にもよく来ているようで、私の近所だといったら喜んでおられました。



香港エクスプレス

今のままで推移すれば、これからもずつと大丈夫だと太鼓判を押してくれました。

今回の訪問は、タイ・香港ともに手ごたえのある充実した内容となりました。課題を整理し、調整すれば前へ進んでいくことを確信しました。

EGLツアーズ袁分英社長は、相変わらずサービス精神旺盛で、昨年同様、訪問団一人一人の名前を壁に貼り、玄関に女性社員を並べて熱烈歓迎をしていただき、当日の香港新聞に訪問団が来ることを娯楽面で一面使って広告してくれています。日本での秋の叙勲にも選ばれています。

相変わらず、香港から日本への観光人気は衰えず、為替レートが

▼12月4日夜、「キャセイが定期便を週2便、来春から飛ばすことを決定した」と突然、石川

それにしても、あの口ぶりからは、調整に最低でも半年ぐらいはかかると思っただけに、早々



毎年、訪問団が来ることを香港新聞に1面とって熱烈歓迎記事を掲載する袁社長のおもてなし

の決定に驚きました。石川県の事務局長の詰めが良かったのでしよう。全国最低の外国人観光客人込数の福井県にとっては、ビッグなお年玉となりました。これからは楽しみになってきました。

孫への手紙 (13)

勇気を失うことは全てを失うことだ

先日は、金沢のお母さんがクラス会に帰ってきたので、久しぶりにみんなが勢ぞろいして、楽しかったです。

クラス会でお母さんは、友だちから、「最近よくお父さんテレビに出てるね」と言われたようです。

その通りで、最近、「カラスの鳴かぬ日はあっても齊藤新緑の名前を聞かない日がない」というくらい、よく新聞やテレビに出ています。

それは、来春4月に行われる福井県知事選挙に、新人で元副知事の杉本達治さんを擁立したからです。

「暗く、閉塞感のある福井県を変えて欲しい」、「これ以上は身が持たない」という切実な声があり、「県職員や教職員などが萎縮せず能力を発揮できるように、もっと伸び伸び、明るく元氣な福井県にして欲しい」、「前の副知事の杉本さんを福井県知事に呼び戻して欲しい」という多くの県民の声が爺の下に寄せられてきました。

なぜ、皆が爺にそんな事を言うてくるのかといえば、爺は今、自民党福井県連の幹事長とか県議会の県会自民党の会長をしているからでしょう。

▼自民党は三期までしか推薦・公認しない

自民党本部、自民党福井県連の規約には、「都道府県知事については、連続三期当選した者については、推薦・公認しない」と定められています。これは、知事の多選に歯止めをかけているものです。

地方自治は、大統領制に近く、首長に権力が集中し、長期になると様々な弊害が起きるからです。

従って、現職の西川知事は、4期連続当選しており、自民党の推薦・公認の対象ではありません。

但し、誰も立候補する人がいなくて、推薦・公認の対象者がいない場合に、現職から推薦願いが出てくると、取扱いを協議することになります。(前回4年前は、誰も対象者が出てこなかったため、最終的には、政策協定を結び、推薦しました。)

今回は、推薦・公認の対象となる杉本さんが出馬表明されましたので、自民党の議論は、西川さんか杉本さんかではなく、推薦・公認対象者である杉本達治さんが推薦に値するかどうかの議論になります。

▼自民党は三期までしか推薦・公認しない

もちろん、杉本さんは総務省のエースで現役公務員部長であり、お爺さんがダムで水没した旧大野市西谷村出身で、福井県に総務部長、副知事と2回赴任されています。人望厚く、人格・識見ともに優れ、56歳の若さで、これからの福井県を託す逸材です。

ですから、何ら問題はなく、自民党の推薦候補として誇れる人物です。このように、推薦を決定しました。

▼良い政治を求めるならば

良い政治をしてもらうには、良い政治家が必要です。

良い政治家をつくるには、みんな、「この人」と思う人を探さなければなりません。

ふさわしい人が見つかったら、候補者として、擁立しなければなりません。

しかし、簡単には誰も決意してもらえませんが、立候補すれば、みんな支え、お金も出し合ひ、選挙運動もやり、必ず当選させるからと決断しやすい環境をつくってあげることが大事です。

水道事業における「業務委託」と「コンセッション方式」の違い

	業務委託	コンセッション方式
運営	地方自治体	民間企業
所有	地方自治体	地方自治体
民間企業の業務内容	検針、料金徴収、ポンプ場経営など	水道事業をまとめて運営
契約期間	毎年更新	15年以上の長期OK
企業側の裁量	業務委託契約の範囲内	企画から実行まで全て
収入源	自治体からの委託料	水道料金

本人が決意してもらえたら、後援会づくりを行い、支持者を増やし、輪を広げていきます。選挙戦を最後までしっかりと闘い、当選させます。

当選したら、継続して後援会活動を行い、支援し、育てていきます。また、将来構想や政策を考え、その実現に向けて努力します。

今、言ってきたことは、爺たちが、今回、実践していることです。まさに、学校の教科書に出てくるような民主主義の実践です。

いつもは、爺たちの知らないところで候補者が決められ、落下傘のように降って来た人を応援したりしてきました。

国あるいは県を代表する財界、産業界、労働界などが決めて、下が動かされる。これらは、上からの選挙です。

これに対し、底辺から、自分たちが出て欲しい人に出馬してもらい、選挙戦を闘うのが、下からの手作り選挙です。

お前たちも将来、そういう場面

り、どの職業に就こうが、職業に貴賤はなく、身分もありませんから、自由な生き方ができて、それだけでも幸福です。

しかし、それは、個人から見た場合のことで、「土農工商」という社会のしくみという面からみると、一理あるなあと、思います。

それは、商人(お金)を一番下の身分にしているということです。それは、多分、「お金」に身分を与えると、大きな権力となつて、お金が支配する世の中になってしまふので、それを遠ざける意味があつたと思われまふ。

そういえば、西郷隆盛が江戸屋敷を処分して鹿児島に帰るとき、「俺は商人じゃやない。買ったときの値段でよい」といったという話を何かで読んだ気がします。

西郷隆盛の清貧を表すための創作かもしれませんが、公の政治に必要な時は、お金を持つている商人から出させる、金のある者は金を出し、知恵のある者は知恵を出し、金も知恵もない者は汗を出せ、ということだったのかも知れません。

▼日本という国

日本には、山川草木悉有仏性などという言葉もあつて、山の神、海の神、草木にも仏が宿っている。人間は、その自然の中で、生

かされているというのが、日本に根付いてきた大切な文化です。日本の資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一は「片手に算盤、片手に論語」と言つて、商売をするにも道徳があり、悪戯を働いての商売は天罰が下り、長続きしないと説いています。

誰が見ていなくとも、「お天道様見てござる」。時かぬタネは生えぬ。悪因悪果、善因善果、悪い結果、良い結果をもたらすのは、各々原因がある。いつの世においても、悪いことをすれば悪い結果をもたらすし、良いことをすれば、良い結果をもたらす。日本に根付いてきた自然崇拜、仏教の教えが、日本を世界一犯罪の少ない国にしていると思われまふ。

▼今だけ、金だけ、自分だけ

「会社は、社長のためにあるのではない。従業員とその家族のためにあるのだ」という家族的な日本経営が、いつのまにか、「会社は、社長と株主のものだ」という外来種に襲われている。日産のカルロス・ゴーン会長に見られるように、「コストカット」として過激なリストラをやり、従業員を2万人以上減らしながら、自分は、巨万の富を手に入れることに何の後ろめたさも感じない。

政府は、この日産に、リストラ減税14億円、公的資金1千億円超を投入していますが、「今だけ、金

だけ、自分だけ」は、最も、日本人が忌み嫌ったものです。

▼政党助成金と政治資金規正法

日本において、企業・労働組合・団体などから政党・政治団体への政治献金を制限する代償として、1994年に政党助成法が成立し、対象となる政党に、国民1人あたり年間250円の助成金(政党交付金)が支給されることになりました。

ちなみに、2007年の総額は約319億4000万円でした。

政治資金規正法は、政治や選挙が外国の勢力によって影響を受けることを避けるため「主たる構成員が外国人もしくは外国法人である団体その他の組織から、政治活動に関する寄付を受けてはならない」と定め、「外国人持ち株比率が50%超の法人を規制対象」としてきました。

巨大な資金力を持つ大企業の献金は、主権者・国民の意思で進めべき政策決定過程を大きくゆがめるもので、国民の基本的権利を侵害するものだということです。

しかし、2006年、外資企業献金を解禁する法改正が行われました。

背景には、献金を通じて政治への影響力強化を狙う日本経団連の意向があります。

これにより、これまで、不十分なながらも、企業献金を徐々に規制

強化してきた流れを逆行させ、それに加えて、外国勢力の影響排除という原則を転換させるものとなりました。

▼参政権を奪う企業献金

私たち、日本国民は日本の政治を行う主権(国民主権)を持ち、それに参加する参政権(選挙権)を持っています。

私たちが選挙で選んだ国会議員は、当然、国民・国家のために仕事をします。そのために、奮闘努力していると思っています。しかし、本場に日本の政治を動かしているのは、この国の主権者たる日本国民なのでしょうか？

企業が企業献金をする理由は、政治に影響を与え、外資が日本市場に殴り込みをかけるための施策でした。

となると、外国企業のための政治が行われても不思議ではありません。そこを、きちんと監視していないと、一体誰のためのか、わからないようになりますし、主権者とは名ばかりのものになりかねません。

▼アメリカの言うがままに

『年次改革要望書とアーミテージレポート』 表向きは対等な要

望、提言という形だが、実態は宗主国アメリカが植民地日本に押しつける命令書に等しいものです。ここ二十数年で進化した郵政民営化も人材派遣自由化も米軍再編も、すべてアメリカが1994年以後突きつけてきた年次改革要望書と、それを引き継ぐアーミテージレポートの具体化でした。

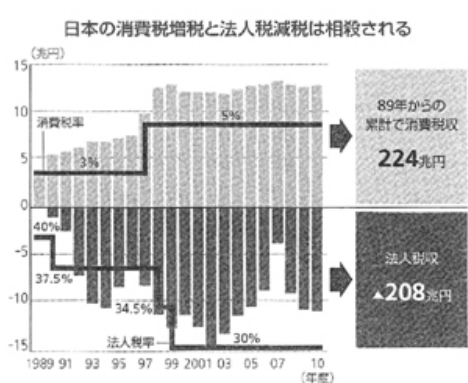
それは日本の主権が侵された異常な現実を突きつけています。90年代は「商法」関連で米国型企業統治の導入や、日本企業を買収しやすくする株式交換型M&A(三角合併)解禁を求め、「競争政策」で独占禁止法の罰則強化や公正取引委員会の権限強化を要求しています。これはNTTなど日本の巨大企業を規制し、外資が日本市場に殴り込みをかけるための施策でした。

さらに郵政民営化、立法・行政の施策決定過程への外国人利害関係者の介入拡大、日本を訴訟社会

にして日本企業の弱体化とアメリカの弁護士業界進出をはかる司法制度改革などを盛り込みました。

その要求にそって日本政府は1997年に独占禁止法改定をおこない、持株会社を解禁(金融持株会社も含む)しました。

日本では消費税が上がっても、国民負担は増えている



	消費税率以前(1988年度)	2015年度
税率	0%	8%
医療	ファミリーマン 本人の窓口負担 1割	3割
	高齢者の窓口負担(外米) 定額(800円)	1~3割
年金	厚生年金の支給開始年齢 60歳	65歳
	国民年金保険料(月額) 7,700円	15,590円
その他	介護保険料(65歳以上) なし	5,514円(全国平均)
	障害者福祉の自己負担 応給負担(9割は無料)	定率1割負担
	公立・公営保育所の数 13,657カ所(88年10月)	9,525カ所

これを抜本改定し、日本の建築基準を緩和しました。これによって、外国の建材や工法がどつとんだれ込んだのです。その結果が現在の自然災害における家屋被害拡大にもつながっています。

99年には労働者派遣法改悪で人材派遣を自由化しました。技術者を育てていく終身雇用を崩壊させ、必要とさなければ外から連れてきて働かせる不安定雇用を拡大した結果、若い世代の貧困化、技術の断絶、少子高齢化に拍車がかかりました。

2001年から小泉ブツシュの「聖域なき構造改革」。郵政民営化法成立によって当時、郵貯、簡保の国債分を除いて200兆円もあった国民財産は民営化でいつアメリカ金融資本に奪われてもおかしくないようになりまし

この郵政民営化以後、アメリカの対日要求を首相直属機関である諮問会議などがせつせと「国の方針」に作り直し、それを短時日のうちに閣議決定して法案作成、国会採決へとすすむ流れがより露骨になりました。

郵政民営化の次は農協・漁協などの相互扶助組織がおこなってきた金融・共済の解体、日本の医療制度や国民皆保険制度の破壊などの動きを強めています。

2015年要求

TTP協定実施に向けた関税・非関税措置の撤廃、法人税率の25%への引下げなどの要求とともに、今年成立させた働き方改革関連法や統合型リゾート推進法(カジノ法)を優先課題として明記していました。

2000年、第1次レポート集団的自衛権の行使容認、有事法制の国会通過、米軍と自衛隊の施設共用と訓練の統合、PKF本体業務への参加凍結解除、米軍再編計画の実行、ミサイル防衛に関する日米協力の拡大、軍事情報を共有するための秘密保護法制定。

2012年、第3次レポート(東日本大震災を経て)原発再稼働、TTP推進、日韓「軍事情報包括保護協定」(GSOMIA)締結、新たな安保法制の制定、武器輸出三原則の撤廃。

水陸両用作戦展開への軍体制確立、平和憲法の改正。

2018年10月、第4次アーミテージレポート 日米統合部隊の創設、自衛隊基地と在日米軍基地を日米が共同使用可能にする基準緩和などを要求しています。

これは事実上、自衛隊を丸ごと米軍傘下に組み込み、日本本土を米軍基地化していく方向性を示しています。

こうした「年次改革要望書」と「アーミテージレポート」が示しているのは、日本国内の政治に主権がない現実です。

さらにあらゆる施策が海の向こうで作られ、その顔色ばかりうかがう売国的な政治家によって、国民無視の施策が次から次にまかり通る異常さです。

日米安保体制に基づくアメリカによる日本支配は、基地のある町や沖縄だけにとどまらず日本本土に及んでいるといえます。

▼この属国状態にあることをメディア(テレビ・新聞)は、何も報道しない。大事なことは伝えない。テレビや新聞が伝えないことは誰も知らない。

在任期間の長い歴代総理は、アメリカの要求を丸呑みする都合の良い人であるという不都合な真実があります。

民のために体を張って闘う日本の「保守政治家」はどこに消えたのでしょうか...

爺への手紙

はじめまして。
私は、福井市内在住の〇〇〇〇と申します。

このたびの県知事選に関わる新緑先生の果敢なる行動、大変頼もしく感じ、失礼ながらメールさせて頂きました。

停滞、閉塞、萎縮：本当に今の福井県は異常な事態だとかねがね痛感しておりました。昔から福井県は権力に甘く、弱者にはとても冷たい県民性であることを生粋の福井人ながらどうしようもない欠点と半ば諦めていましたが、先日の本氏の会見内容におけるかなり具体的な指摘を聞き、自分の日ごろの諦め感に鞭を打ちたいような気持になりました。

しかも杉本氏はこのような今の「おぞい」福井県に対し、自分の退路を断って選挙戦に臨むと言い、自分の人生を福井県に捧げるとまで言っている。この力強い言葉に、思わず目頭が熱くなりました。

杉本氏がこのような決断に至った背景には、新緑先生らのこれまでの、熱く真摯な思いと行動があったことと察します。本当にありがとうございます。

しかしながら県会内部が分裂するなど、現職との闘いは我々の想像を絶する苛酷さがありますね。まさに血と汗を搾るような闘いになることと察しますが、杉本氏共々くれぐれもお体に気をつけて頑張ってください。

絶対絶対勝ちますよ！遠くにおいても毎日応援しています！

余談ですが：

もうずいぶん長く、新緑先生には一度お目にかかれたらとは思っておりまして。というのも、私も生粋の矢沢永吉ファンだからです。永ちゃんファンの人なら冷めている人のはずがありませんね。永ちゃんが育った厳しい環境についてもよくご存知だと思えますので、新緑先生は貧しい人や体の不自由な人への温かい心も自然と湧き出てくる方ではないでしょうか。

私はもうかれこれ永ちゃん歴は35年ほどになりますので（トシがばれますね）、昔はよく福井市文化会館のコンサートにも行きました。しかし最近はなかなかこちらに来てもらえないので、もっぱら大阪城ホール中心ですね。もちろん9月の東京ドームもファンキーに楽しんできました！

永ちゃんの好きな曲は、メジャーなどところではチャイナタウン、バイバイサンキューガール、雨のハイウェイ、トラバス：マイナーなどところではライフ・イズ・ヴェイン、安物の時計（最近メジャー昇格？）、ひき潮 soloing...といったところですかね。また永ちゃん談義もしてみたいです！

それは新知事誕生後の楽しみにしておきますね♪

長くなり、大変失礼いたしました。それではまた♪



ご無沙汰してはいますが、いつも筋の通った立派な活動をされておられますことに敬服しています。

このたびは新知事誕生のため先頭に立たれることをまことに心づよく有難く存じます。

杉本さんとは懇意にしていますが立派な知事になられると思います。

向寒のみぎり、ご自愛下さいましてご健闘下さいますように。まずは。

〇〇元市長



福井県議会議員
齊藤新緑さま

はじめまして、私は先日、Noraの陶板浴を利用させて頂いた者です。40才を過ぎて、美容と健康の為に考えネット検索を重ねるうちにたどり着いたのですが、Noraの観光できる田舎体験や、体にやさしい食事、免疫力や自然治癒にアプローチする健康法、とてもステキだなあと思いました。

そして、このような施設を作った人ってどんな人なんだろうと興味を持ったことで手にとって読みはじめた「さいとう新緑 議会報告 “ほっとらいん”」この内容の素晴らしさに、今、思わずペンをとった次第です。

折りしも今日は、来年10月の消費税率引き上げについての方針が示された日テレビのワイドショーではその話題と元横綱 輪島さんの告別式についての話題がくり返し放送されていました。

私はこの“ほっとらいん”を読むまで、消費税が上がるのは仕方がない。政府が推奨するキャッシュレス決済についても、「便利で良くなるワ！」と思っていた程度の感覚でした。それがまさか…ICタグによって自分達が大きな力にコントロールされていくなんて…。

他にもこの新聞には、ほんやり生きていると、うっかり騙されていても気付かない大規模な罠について書かれていました。

中でも感動し、このように文才のない私がお手紙を書いてでも齊藤議員にお伝えしたかった記事が“孫への手紙(12) 思考するということ”でした。

爺は34歳で三国町議会議員になり42歳で福井県議会議員になり、今年で28年になります。「勉強をしていない議員」、「仕事のできない議員」とだけは言われないうように努力していきました。そして結衣のように、これから生まれてくる者も幸せに暮らせるように考え、行動しています。

「政治家たるべき者、一年のうち半分は本を読め」、にも忠実に励んできました。その結果、歴史をはじめ、一般常識的に伝えられている世の中の多くのことがウソ、インチキ、捏造、偽造、八百長であったり、必ず誰かが裏で仕掛けたものであることがわかります。

学校で習わないこと、テレビや新聞が伝えないことは、どんな重要なことでも誰も知りません。

生まれながらにして結衣は嫌がおうでも、この社会で生きねばなりません。

そのためには、視野を広く持って、もっと高い次元から物事を見ないと、目の前に起きていることがすべて真実だと思ってしまいます。

こんなに思いやりの詰まった記事を有難うございました。有難うございます。齊藤議員が28年間沢山の時間を使って本を読み学ぶことで得た知識を、血の繋がったお孫さんにかたりかけるように、私達にも分けて下さっている。その愛情に感謝致します。

そして私自身、娘を持つ母親として、もっと学ぶことが必要だったと反省させられました。

世の中は正しい言葉を発信する時、その反対の力が働き、常に正義は圧力に潰されてきました。私達は愛情を持って真実を語ってくれた爺を守らなくてはいけないと思いました。とても無力な私ですが、そんな気持ちを込めてお礼のお手紙です。

齊藤新緑(爺)さま笑 これからも頑張ってください。今日から私も応援させて下さい！

このほっとらいんが
一人でも多くの人の思考に
届きますように…



福井市 41才
さくらママより 😊

門出

作詞・星野哲郎
作曲・吉幾三

男の唇を めくってみれば
生きるか死ぬかの 二つだけ
生きていながら 死ぬよりも
死んだつもりで 跳びかかる
夢が 夢が
夢が 門出の 攻め太鼓
嵐は花粉を はこんでくれる
吹雪はリンゴを 赤くする
つらい運命を 踏み台に
泥をつかんで 起ちあがる
意地が 意地が
意地が 男の 松飾り
仕事の怨みは 仕事で晴らせ
酒や女に ふりこむな
希望 辛抱 きかんぼう
三つ揃えた この棒で
押して 押して
押して 開かない 明日はない
押して 開かない 明日はない
押して 開かない 明日はない

▼「胆略あり、兵に臨みて惑わず、機を見て動き、奇を以て人に勝つ者は高杉東行、これまた洛西の一奇才」と、中岡慎太郎は、高杉晋作を絶賛している。

「動けば雷電の如く、発すれば風雨の如し」
維新回天の扉を開けたのは、高杉晋作の功山寺拳兵。

「一里行けば一里の忠を尽くし二里行けば二里の義を尽くす」
「誰も来ぬなら我一人でも行く、その気迫が人を動かし、時代を動かして行く。」

・世の中の人は何とも言わば言え、わが成すことは我のみぞ知る(坂本龍馬)

・命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人間は始末に困る。しかし、その始末に困る人間でなければ、艱難を共にし国家の大事をなすことはできない(西郷隆盛)

・君たちは功業をなせ、僕は大事をなす(吉田松陰)

(お前たちは政治的にうまく立ちまわって立身出世するがよからう、だが私は大事をなすのだ)

・山の麓を見ても援軍来たらぬ時は勇者一人立つとき最も強し。空は落ちてこない。山より大きい猪は出て来ない(ロッキー)

新緑の気ままにトク

ド事件で逮捕された時の田中角栄が言った言葉

・津藩の家老、西郷頼母は藩内で唯一、新政府に盾突くのは得策でない」と主張したため、「登城まかりならぬ」と謹慎処分を受けていた。しかし、官軍が押し寄せてくると、禁を破って、息子と共に最前線に立った。

一方、武家屋敷の婦女子は城内に籠城したが、頼母の妻、千恵子は、謹慎の身だとして、これを断り、親類縁者を屋敷内に集めた。

最前線の男衆が、家族を思っただけで、あつてはならない。事ここにい

恥を後世に残すより…」全員白装束に身を正し、水盃を交わし、辞世の句を詠み、そして、まず自ら懐剣を手にして幼い娘らを刺し、それから自らに切先を向けた。それを合図に、老祖母も母も、その場に倒れる者みな自刃した。その数、なんと21人……。

なよ竹の 風にかかする 身ながらも たわまぬ節は ありとこそ聞け(弱竹II女竹、風にしなる細い竹でも、曲がってしまわぬ節も



ある)礼節を曲げない女の生きざまを見せまじょう、という気迫が漲っていて凄く、美しい。

▼「男には売つちやいけねえ魂と曲げちやいけねえ信念がある」と教わってきたが、節のない者といると、いつ寝首をかかれるのか、危うくて仕方ない。

役職にある者が、その役を守るため保身に走るのではなく、その「役目」を果たさねばならない。たとえその役が、矢面に立つ斬り込み隊長の役であつても…。

「明治維新の志士たちは、命の捨て場を探していたというが、齊藤新緑、ここが命の捨て場」と若い時から何回腹をくくってきたか分からない。そんなとき、引き出しにある勇者たちの言葉や小説の主人公や歌が、自分を励ます応援歌となってきた。

▼いつもすまねえなあ
子どもの頃、日曜の夕方6時とすれば、こんなことにはならなかった、電信柱が高いのも郵便ポストが赤いのもみんな齊藤新緑が悪い、悪役になつてきた。

その中に、寝たきりの父(ハナ肇)と、世話をする双子の娘(ぎっぴーナツ)の定番コントがあつた。



「お父つあん お粥ができたわよ、「いつもすまねえなあ」、「お父つあん、それはいいつこなしよ」……。

そこへ関係ない植木等がやってきて、「お呼びでない、お呼びでない、これまた失礼致しました」か、谷啓が出てきて「ガチョーン」がオチだった。

女房が、「毎朝、ドキドキしながら新聞を開く」というのを聞いて、ハナ肇のセリフを思い出した。「いつもすまねえなあ」

杉本さんを知事候補に擁立する記事が出たとき、「あくまたやつてしまった」と思ったようだ。

それから連日、誰が候補者なのやら「カラスの鳴かぬ日はあつても齊藤新緑の名を聞かぬ日はない」ようになった。

そのうち、齊藤新緑さえないなければ、こんなことにはならなかった、電信柱が高いのも郵便ポストが赤いのもみんな齊藤新緑が悪い、悪役になつてきた。

女房は、そのうち誰かに後から刺されるのではないかとマジで心配したようで、朝、ウォーキングに出た帰り道、向こうから女房ら

しき者が歩いてくるので、女房もウォーキングを始めたのかと思つたら、帰りが遅いので、どこかで死んでいるのではないか、心配して探してきたのだという。

夜中にトイレに行くと、翌日「眠れないのか」と心配する。眠れなかったのはそなたである。いつもすまねえなあ

▼「あと何年一緒にいられるのかなつて、最近つくづく思うの」と女房に言われると、思わず絶句してしまふ。

それからやんわりと「多分、あなたが先に逝くと思うけど、死ぬときには、ちゃんと『お前と一緒に生きて良かった』って言うんやよ」……。

そんなことなら、お安い御用と聞きたいところだが、無常の風がいつどこで吹いてくるやら、そればつかしは、仏さんにお任せしている身であれば、何ともできない。ならば、今のうちに言っておこう。

『お前と一緒に生きて良かった』

▼さて、今年は、選挙の年です。自分の選挙もさることながら、新しい時代に、若さと行動力のある新しい知事を誕生させることが、福井県にとって何より大事です。夫唱婦随。力を合わせて頑張っていきましょう。

謹んで新年のご祝辞を申し上げます。